あさひ青指だより90号掲載内容訂正のお知らせ

このたび、あさひ青指だより 90 号「旭区大なわとび大会」内での記載に一部誤りがありました。以下の通り訂正し、お詫び申し上げます。

【訂正内容】

旭区大なわとび大会結果表、低学年の部2位の地区名(4ページ)

- (正)川井地区
- (誤)川合地区

旭区青少年指導員連絡協議会事務局 旭区地域振興課生涯学習支援係内

TEL:954-6099 FAX:955-3341

あるの青指定の



旭区青少年指導員連絡協議会 行

集 広報部会

旭区役所地域振興課 TEL. 954-6099 事務局

旭区マスコットキャラクター あさひくん



第30回 旭 ふれあい 区民

10月20日(日)10時より旭区役所、 鶴ヶ峰公園周辺にて第30回旭ふれあ い区民まつりが開催されました。

我々青少年指導員は例年、全市統一行 動キャンペーンと竹細工教室を行ってお ります。

キャンペーンでは全市統一行動標語「子どもはみんな 社会の子」、11月は「子供・若者育成支援強調月間」で あること、青少年指導員の取り組み等について書かれ

たチラシとウエッ トティッシュを配 布しました。

竹細工教室は地 域の竹を用意し、 箸・一輪挿し・ぶ んぶんまる・竹と



んぼ・竹笛・竹ぽっくりの作り方を指導しました。

ノコギリやキリ等普段使わない道具で黙々と作業す る様子はとても楽しそうでした。一番人気は竹ぽっく り!子どもたちは自分用に作ったぽっくりを履いて教 室を後にしていました。



11月9日(土)第17回旭区親子野外自然体験活動が こども自然公園で開催されました。

多くの申し込み者の中から抽選で37組120名が選ば れ参加しました。

開会式の前に大野会長のオカリナの伴奏に合わせて 参加者全員で「ふるさと」などを合唱しました。

その後、各親子チームでウォークラリーに出発し、

各チェックポイン トで文字探しなど のゲームを楽しんで

いました。野外炊事では、各班に 分かれ薪割をしたり、肉や野菜を 切り焼きそばを作り、皆おいしそ うに食べていました。



親子野外自然体験活動アンケートの結果

どのように 知ったか

小学校 子ども会 : 1組 広報旭区版: 3組 その他 : 1組

参加したのは 何回目か

初めて: 17組 2回目: 3組

参加した感想

: 19組 楽しかった やや楽しかった : 1組 ややつまらなかった: 0組 つまらなかった : 0組

自由記述

・また参加したい。

・文字探しとクイズが両方あって楽しかった。

・豚汁、白玉、自分たちで作った焼きそばもとっても おいしかった。また参加したい。

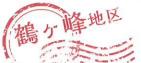
・素敵な企画をありがとうございました。・とっても楽しかった。子どもは大満足。 年2回くらい開催していただけると嬉しい。











鶴ケ峯小学校秋祭りに参加

「やったー、大当たりだ!」秋晴れの空に嬉しそうな声が響き渡ります。

当地区では主な活動の一つとして鶴ケ峯小学校で毎年10月に開催されて いる秋祭りに「射的」を出店しています。お客さんは、やる気満々のわんぱ

く少年や「おねえちゃんが教えてあげるから、こうやってね・・・。」と優しく妹に打 ち方を教えてあげる姉妹など様々です。初めてなのかちょっぴり緊張気味の子どもた

ちも倒したい的を狙う姿は真剣そのもの。そして当たった時の喜ぶ様子は、見ている我々もつられて嬉 しくなってしまうほどです。

すっかり秋祭りの定番となった青指の「射的」。来店者数も年々増加し今年は延べ316名(昨年比114%)と なりました。子どもたちとの触れ合いの場としての本イベント、今後も盛り上がること間違いなしです。

地域の恒例行事に小中学生が活躍





17回目となった青指主催の地域清掃活動は、8月24日(土)に行われました。 鶴ケ峯中生徒35名と不動丸小児童32名、先生や青指と地域の大人60名が白 根公園に集合して、フコースに分かれて白根地区内の清掃活動を行い、暑さの 中で頑張った充実感を味わいました。

写真は白根地区の多くの団体等が参加する第22回白根カーニバルです。10 月26日(土)に白根公園で行なわれ、鶴ケ峯中生徒21名と青指がフランクフ

ルトとヨーヨー釣りを担当しました。また、焼きそばやポップコーンの手伝いも行いました。他にも不動丸小 の学年別の演技や鶴ケ峯中吹奏楽部の演奏などもあり秋晴れの楽しい一日でした。

旭北地区クラフト教室

旭北地区は20名の青少年指導員が旭北ふれあい祭り、グランドゴルフや防 災訓練などの裏方支援と青指企画の活動をしています。

青指企画で最近始めたクラフト工作教室は、作る楽しみ、使う楽しみで好評です。 当地区にはクラフトで小物から大物まで作って楽しんでいる青少年指導員がい ます。その方が講師となり、事前に講習を受けた青少年指導員が当日分担し、親 子に教えました。

こんな使われ方も

親子で参加して親に手を出させない子もいるし、親が楽しんでいる組もあり親子の良いコミュニケーション の機会になりました。

今回はポケットティッシュ入れを作りましたが小物入れとしても使えます。自分の作ったものを持ち帰り、 どのような使い方をするか、こども達の発想に繋がればと思います。